

2019 年度
健康科学大学看護学部
A0 入試 I 期

2018 年 8 月 31 日

2019 年度健康科学大学看護学部入学試験

小論文試験問題 (AO 入試 I 期)

次の文章を読み、あとの問いについて別紙解答用紙に記述しなさい。

私たちは、コンピュータは人間よりどこがすぐれていてどこが弱いかわかり、よく知っていると思いがちだ。だがコンピュータはいまや未知の領域で進化を遂げつつある。この事実をわきまえていけば、ここ数年の混乱の原因も、デジタル技術が①コヨウに与える真の影響も、よりよく理解できるだろう。

このところの技術の進歩がどれほどめざましいものであるかは、二〇〇四年に出版されたある本と二〇一〇年に行われたある発表とを比べてみるとよくわかる。この本とは、くわしい調査に基づいて書かれた『新しい分業』★²(未邦訳)で、著者は経済学者のフランク・レビー★³とリチャード・マーネン★⁴である。タイトルが②アンジするように、同書はコンピュータと人間の能力を比較検討している。

同書の第二章、「人間がまだ必要なのはなぜか」では、情報処理に関する仕事が論じられている。この種の仕事を概観したとき、一方の端にあるのは、A. 既存のルールをそのまま適用するような仕事だと著者は③シテキする。この領域に属す仕事、たとえば計算の実行といったタスクは容易に自動化できる。一言で言えば、コンピュータはルールに従う仕事は得意である。

反対側の端にあるのは、パターン認識などのタスクである。これらは、ルールから推測することがむずかしい。同書ではこの領域に属す仕事の代表例として、市街地での車の運転を挙げ、こうしたものは自動化できないと主張する。

「トラックの運転手は、周囲の環境から視覚、聴覚、④ショウカクに訴えるさまざまな情報をつねに受け取って処理している。(中略) こうした行動をプログラミングするためには、まずはビデオカメラやセンサーを使って⑤ボウダイな情報を収集しなければならない。だが車が行き交う中で右折をする場合、関与する要素はあまりに多く、運転者の行動を再現しうる一連のルールは、とうてい決められそうもない。

人間の持っている知識を明確化してそれをソフトウェアに埋め込むことは、系統的に構造化された状態を除いては、現時点ではきわめてむずかしい。(中略) トラック運転のような仕事では、B. コンピュータが人間にとってかわることは容易ではない

(★²、★³、★⁴ の注釈は省略した。)

(エリック・ブリニョルフソン アンドリュー・マカフィー 著、村井章子 訳「機械との競争、日経BP社」2013年)

問 1. 本文中の下線部①～⑤のカタカナを漢字にしてください。

①コヨウ ()

②アンジ ()

③シテキ ()

④ショッカク ()

⑤ボウダイ ()

問 2. 下線部 A の 既存のルールをそのまま適用するような仕事 の逆の例えを表している箇所を 10 字以上 15 字以内で 1 つ抜き出してください。

問 3. 下線部 B に コンピュータが人間にとってかわることは容易ではない とあるが、将来的なコンピュータと人間の関係性について、あなたの考えを 500 字以内で述べなさい。

2019 年度健康科学大学看護学部入学試験

小論文解答用紙 (A0 入試 I 期)

問 1. 本文中の下線部①～⑤のカタカナを漢字に下さい。 1 問 5 点×5 問=25 点

①コヨウ (雇用)

②アンジ (暗示)

③シテキ (指摘)

④ショッカク (触覚)

⑤ボウダイ (膨大)

問 2. 下線部 A の既存のルールをそのまま適用するような仕事の逆の例えを表している箇所を 10 字以上 15 字以内で 1 つ抜き出しなさい。 15 点

下の解答例、3 つのうちどれでも正解とする。

パ	タ	ー	ン	認	識	な	ど	の	タ	ス	ク			
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--

車	が	行	き	交	う	中	で	右	折	を	す	る		
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--

ト	ラ	ッ	ク	運	転	の	よ	う	な	仕	事			
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--

問3. 下線部Bにコンピュータが人間にとってかわることは容易ではないとあるが、将来的なコンピュータと人間の関係性について、あなたの考えを500字以内で述べなさい。

60点

○文字数 10点

400字～500字 10点、 200～399字 5点、 100～199字 3点、 99字以下 0点

○正しい語句の使用 10点

誤字・脱字 1個につき1点減点（同じ文字については1回のみ減点）

最高10点まで減点できる

○文章の構成・表現力 20点

段落分け、起承転結、句読点などが正しく使われているか、ひらがなばかりの文章になっていないか、に着目する。

20点、15点、10点、5点、0点の5段階評価

○論旨の展開 20点

一貫性、独創性、経験、一般論（知識）の4つの観点から評価

文中の文章を多用している場合は減点対象。

20点、15点、10点、5点、0点の5段階評価